特定非営利活動法人
日本HIV陽性者ネットワーク・ジャンププラス

２０１９年度　活動報告書

〒169-0073 東京都新宿区百人町1-21-12-103
電話：03-4291-2312
E-mail : info@janpplus.jp
WEB : http://www.janpplus.jp

活動目的とミッション

JaNP+の活動目的

HIV陽性者が秘密を抱えることもなく、社会的な不利益を受けることもなく、HIV陽性者として、自立したあたりまえの生活ができる社会を目指します。

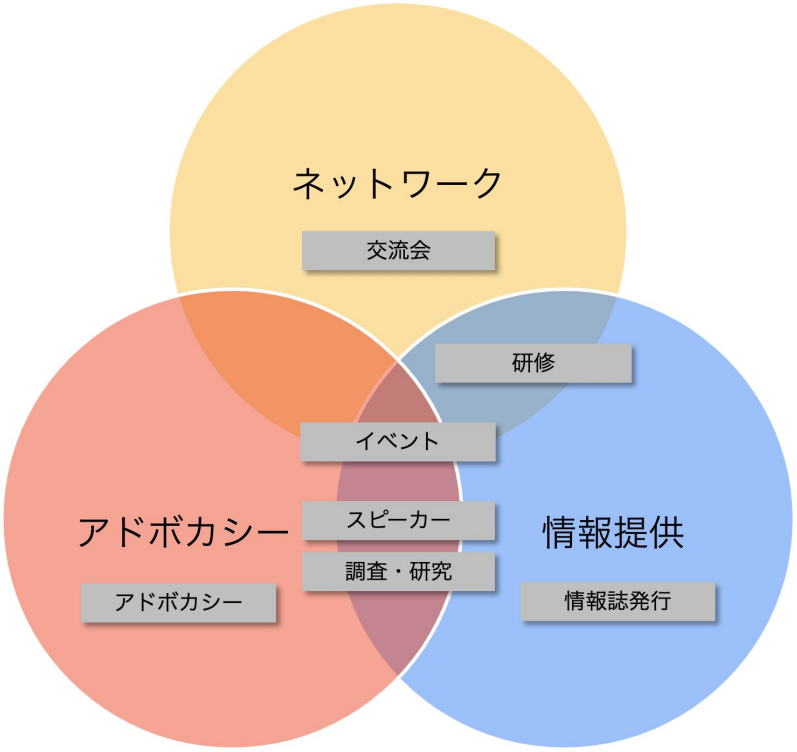
JaNP+のミッション

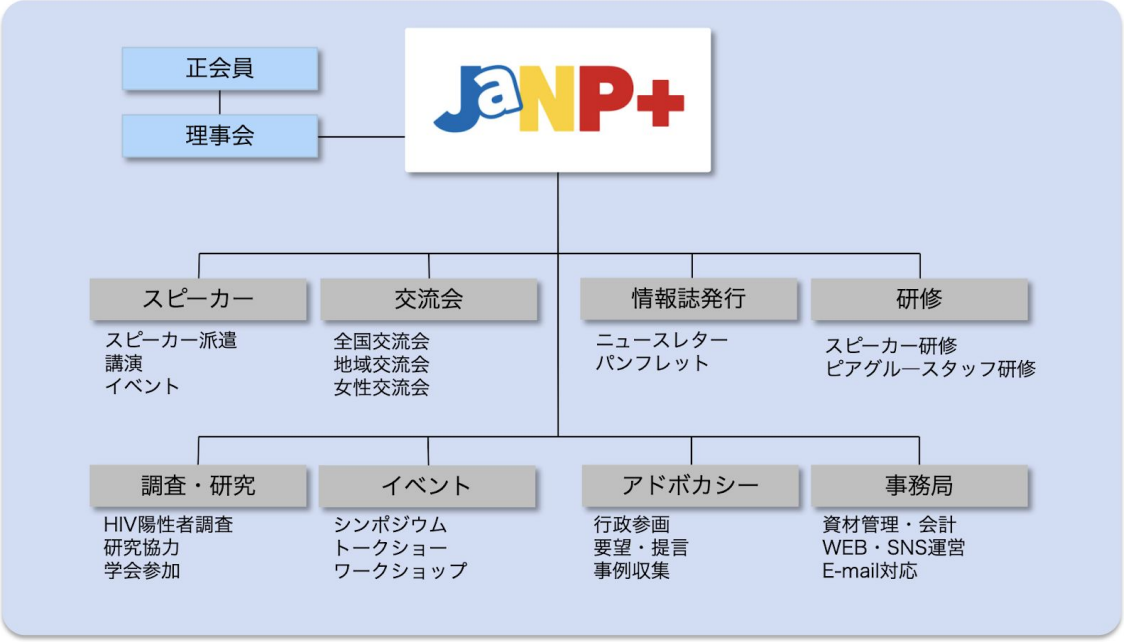
1. 情報提供活動
   医療、福祉、保健、政治などの幅広い分野から、HIV陽性者の生活に関する情報を、HIV陽性者独自の視点で選び、伝えています。

2. アドボカシー活動
   社会に根強く残るHIV/AIDSへの偏見や差別をなくし、HIV陽性者であることから生じるさまざまな不利益をなくすよう、社会に働きかけています。

3. ネットワーク事業
   国内外のHIV陽性者グループと、交流や情報交換を行います。多くのグループが連携、協力しあうことで、より大きな声へと変えていくことが可能となります。

３つのミッションと各プロジェクト





HIV陽性者スピーカー派遣

HIV・エイズに対する偏見へのおそれから、HIV陽性者が自身の感染の事実を周囲の人に伝えることはハードルが高く、慎重にならざるを得ません。当事者からすれば「言わなければ分からない」ので、伝えなければならない相手や状況も限られます。

しかし、HIV陽性者と実際に対面したり、話しを聞いたりする機会がなければ、多くの人々にとってHIV・エイズは「他人事」のままです。このままでは、HIV・エイズに対する恐怖や不安などの過剰なネガティブ・イメージは変わらず、偏見や差別の問題はいつまでも解消されないという悪循環が続くことになります。

実際、HIV陽性者の中には、自分のできる範囲で身近な人たちにHIV陽性であることを伝えている人も少なくありません。そして伝えられた人は、その時点で初めてHIVを「身近な問題」として認識し、自分が抱いていた従来のHIV・エイズやHIV陽性者に対するイメージが変わるきっかけを得ています。

こうした小さなカミングアウトを積み重ね、リアリティを広げていく取り組みが、HIV陽性者スピーカー派遣活動です。自身がHIV陽性者であることをオープンにできる人は決して多くありませんが、JaNP+のスピーカーは、テレビや新聞などのメディアだけでなく、講演会や研修会、少人数の集まり等を通じて、全国各地で等身大の語りを提供しています。

派遣実績

2019年度は、計27件の派遣依頼に応じ計13名のHIV陽性者をスピーカーを派遣、合計で約2,200名の方に聴講していただくことができました。

＜派遣実績詳細＞

日付	依頼主体	催事名
2019/05/27	ヴィーブヘルスケア株式会社	ViiV Volunteer Day for PLHIV
2019/06/15	ヴィーブヘルスケア株式会社	鹿児島HIV感染症研究会講演会
2019/06/21	公益財団法人エイズ予防財団	HIV／エイズ基礎研修会
2019/06/27	広島大学病院	第37回　看護師のためのエイズ診療従事者研修
2019/07/02	ヴィーブヘルスケア株式会社	アドバイザリー・ボード会議
2019/07/02	千葉科学大学看護学部	易感染状態にある患者の看護－HIV感染者の生活－（当事者参加型授業）
2019/07/06	認定NPO法人AIDSネットワーク横浜	第27期AIDSボランティア学校・電話相談員養成講座
2019/07/11	石川県立中央病院	令和元年度北陸ブロックHIV/AIDSカウンセリング・ソーシャルワーク連絡会および研修会
2019/07/25	広島大学病院	第38回　看護師のためのエイズ診療従事者研修

2019/08/02	AIDS文化フォーラム in 横浜	AIDS文化フォーラム in 横浜
2019/08/02	AIDS文化フォーラム in 横浜	AIDS文化フォーラム in 横浜
2019/08/02	特定非営利活動法人シェア＝国際保健協力市民の会	JICA青年海外協力隊 エイズ対策集合研修
2019/08/05	ヴィーブヘルスケア株式会社	ViiV Webinar
2019/8/23	福岡県保健医療介護部がん感染症疾病対策課	福岡県ＨＩＶ・エイズ基礎研修会
2019/09/02	独立行政法人国立病院機構大阪医療センター	令和元年度HIV/AIDS看護師研修初心者コース
2019/09/07	厚生労働科学研究費補助金(エイズ対策政策研究事業) 猪狩班	意見交換会
2019/09/18	国立保健医療科学院	エイズ対策研修
2019/10/10	一般社団法人 部落解放・人権研究所	人権啓発東京講座
2019/10/15	群馬県立高崎商業高校	性・エイズ講演会
2019/11/02	公益財団法人エイズ予防財団	エイズ中核拠点病院相談員研修会
2019/11/11	独立行政法人国立病院機構大阪医療センター	令和元年度HIV/AIDS看護師研修初心者コース
2019/11/17	smART応需	第20回スマートな応需のための連携学習会
2019/11/24	日本聖公会東京教区人権委員会	第25回世界エイズ・デー記念礼拝
2019/12/02	山梨県福祉保健部健康増進課	令和元年度エイズ知識普及啓発講習会
2019/12/11	杏林大学	講義（公衆衛生看護活動論Ⅰ）
2020/01/07	柏市保健所　保健予防課	エイズ研修会
2020/02/29	琉球大学医学部附属病院	第11回沖縄県HIV臨床カンファレンス

POSITIVE TALK 2019

熊本で開催された第33回日本エイズ学会では、HIV陽性者によるスピーチプログラム「POSITIVE TALK」が企画され、JaNP+では演者の募集や選考、当日の進行等の運営に協力しました。

このプログラムには8名の応募があり、4名が学会場でHIV陽性者としての経験やメッセージを語りました。

HIV陽性者交流会

HIV陽性であることをオープンにしづらい日常生活において、他の陽性者と知り合う機会をなかなかありません。特に首都圏以外の地域では、その傾向は強くなります。
このためJaNP+では、交流会の自主開催や地域の当事者グループへの支援を通じて、一定の安全性が確保されたHIV陽性者の交流機会を提供することで、当事者どうしのネットワークづくりに取り組んでいます。

開催実績

2019年度は、下記のとおり交流会を開催しました。なお、JaNP+女子会については東京都エイズ啓発拠点事業として実施しました。

＜JaNP+主催の交流会＞

- HIV陽性者交流会　　HIV陽性者限定の交流会
- ジャンプ！交流会　　HIV陽性者とJaNP+会員・ゲスト等による交流会
- JaNP+女子会　　HIV陽性の女性限定の交流会

＜開催実績詳細＞

日付	催事名	開催地	参加者数
6月29日	ジャンプ！交流会	東京	9
7月13日	HIV陽性者交流会 in 広島	広島	6
9月14日	ジャンプ！交流会	東京	18
10月12日	HIV陽性者交流会 in 広島	広島	6
10月13日	HIV陽性者交流会 in 仙台	宮城	5
11月2日	ジャンプ！交流会	東京	11
11月9日	JaNP+女子会	東京	7
2月1日	ジャンプ！交流会	東京	14
2月15日	HIV陽性者交流会 in 広島	広島	13
3月7日	HIV陽性者交流会 in 仙台	宮城	6
のべ参加者数			95

※参加者数はスタッフを含む

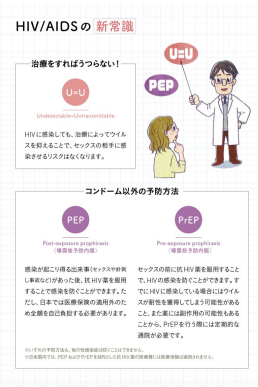
情報誌発行

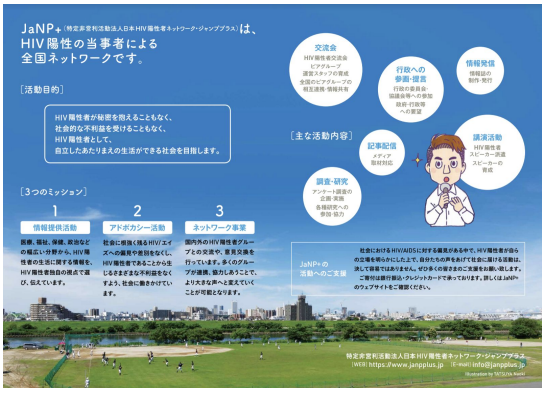
ニュースレターの発行

　ニュースレター第40号～第42号を制作、発行しました。
　ニュースレターは5000部を発行し、全国のエイズ治療拠点やNGO、各種会員等に広く配布しています。また、WEBサイト上でも読むことができます。
　2019年度は、ヴィーブヘルスケア株式会社による企業広告掲載のほか、前年度に続き公益財団法人エイズ予防財団の助成を受けて、ニュースレターを制作・発行することができました。

パンフレットのリニューアル

　JaNP+のパンフレットをリニューアルし、従来の団体の活動概要の紹介に加えて、HIVの基礎知識やU=Uなどの最新知識、エイズ対策に対する問題提起についても掲載することで、より幅広く活用できる内容に刷新しました。
　このパンフレットの制作は、オラクル有志の会ボランティア基金の助成を受けて実施することができました。





調査・研究

当事者の立場で様々な活動を行うためには、その裏付けとなるHIV陽性者の現状やニーズを論理的・客観的に把握する必要があります。JaNP+では、ミッションに照らして重要な調査や研究について、積極的に参加・協力しています。

HIV Futures Japanプロジェクトへの参加協力

HIV Futures Japanプロジェクトは、HIV陽性者の「自分らしくより健康的な生活の実現」と「暮らしやすい社会環境づくり」を目的とした当事者参加型です。

HIV陽性者を対象としたWEBアンケート
URL　http://survey.futures-japan.jp/

HIV陽性者のためのポータルサイト運営
URL　http://futures-japan.jp/

このプロジェクトには、全国各地からHIV陽性者が参加する「レファレンスグループ」が設置されており、調査の実施やサイト運営について当事者の意見を積極的に取り入れています。JaNP+は、これまでの活動によって培ったネットワークをもとに、レファレンスグループの運営に協力しています。また、代表理事の高久はプロジェクト全体の意思決定を担うステアリンググループのメンバーとして参加しています。
2019年度は、第3回目となるWEBアンケート調査の実施に向けて、全国から集まったHIV陽性者14名によるレファレンスグループ会議で意見交換を行いました。

＜活動実績＞

日付	内容
6月16日	研究者グループ会議
9月14日	レファレンスグループ会議
11月27日	第3回調査開始

その他の研究協力

2019年度は下記研究において研究協力者としてJaNP+の高久が参加しました。

- エイズ対策政策研究事業「MSMに対する有効なHIV検査提供とハイリスク層への介入方法の開発に関する研究」（研究代表者：金子典代）
- エイズ対策政策研究事業「エイズ予防指針に基づく対策の推進のための研究」（研究代表者：松下修三）
- エイズ対策政策研究事業「HIV検査受検勧奨のための性産業の事業者及び従事者に関する研究」（研究代表者：今村顕史）

日本エイズ学会・理事就任

2019年10月、代表理事の高久が日本エイズ学会の理事に就任しました。

アドボカシー

JaNP+は、HIV陽性者の権利擁護と行政等への参加・意見反映といった観点から、HIV陽性者の視点・立場からのエイズ対策へのより積極的な関与を活動の柱としています。

広い意味ではJaNP+の活動は全てアドボカシーにつながっていますが、ここでは特に政府および行政への働きかけや協働、メディア対応についてご報告します。

行政・企業

＜活動実績＞

- 東京都エイズ啓発ポスター審査員（佐藤）
- 東京都エイズ専門家会議委員（高久・コロナウイルス対応のため中止）
- ヴィーブヘルスケア株式会社アドバイザリー・ボード（高久ほか4名）
- 第33回日本エイズ学会学術集会・プログラム委員就任（高久）
- 第34回日本エイズ学会学術集会・プログラム委員就任（高久）

メディア

＜活動実績＞

日付	媒体名
1月26日	千葉日報に取材記事掲載
1月27日	福島民報に取材記事掲載
1月30日	日本海新聞に取材記事掲載
1月31日	下野新聞に取材記事掲載
2月4日	京都新聞に取材記事掲載
2月18日	静岡新聞に取材記事掲載
2月21日	高知新聞に取材記事掲載
2月22日	秋田さきがけ新聞に取材記事掲載
3月5日	茨城新聞に取材記事掲載
3月10日	山陽新聞に取材記事掲載
3月12日	日本海新聞に取材記事掲載
3月21日	岐阜新聞に取材記事掲載
3月24日	中国新聞に取材記事掲載
4月2日	沖縄タイムス

その他

WEBサイト「性病リスク・セルフチェック」制作

URL https://std-check.jp/

　JaNP+のメンバーも多く参加している「HIV　Futures　Japanプロジェクト」では、HIV陽性者のセクシュアル・ヘルス向上について追求しています。その過程で「セックスをする全ての人が、性感染症全般に対するリテラシーをより高めることが必要」と考え、こちらのWEBサイト「性病リスク・セルフチェック」を企画、同プロジェクトとともに制作および広報キャンペーンの準備に参加しました。

寄付・助成

2019年度も、様々な企業・団体・個人の皆様より寄付および助成をいただきました。おかげさまで、ご報告させていただきました通り様々な活動を実施することができました。あらためまして、ご支援をいただいた皆様に厚く御礼を申し上げます。

＜年間活動への寄付＞

- ヴィーブヘルスケア株式会社
- ファイザー株式会社
- 中外製薬株式会社

※個人の方からのご寄付については、プライバシー保護のためお名前の掲載を控えさせていただきます。

＜特定事業への助成＞

助成元	対象プログラム
公益財団法人 エイズ予防財団	情報誌発行（ニュースレター）
オラクル有志の会 ボランティア基金	パンフレット制作
ヤンセンファーマ 株式会社	HIV陽性者交流会（仙台・広島）
アステラス製薬 株式会社	WEBサイト「性病リスク・セルフチェック」キャンペーン